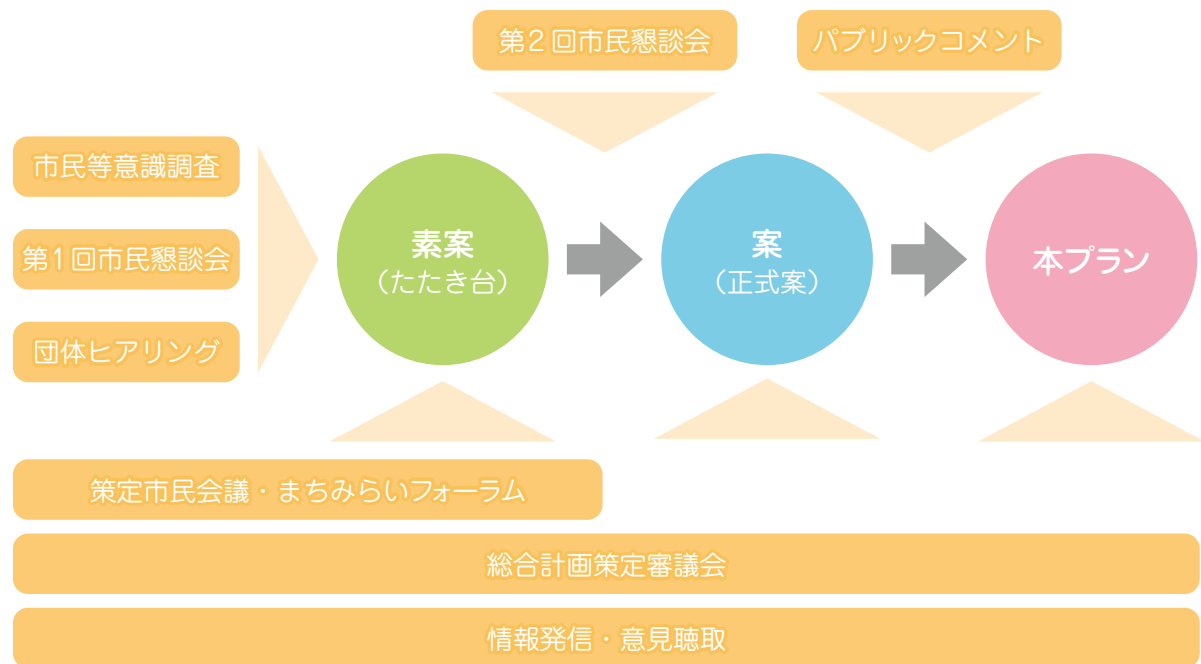


3 策定の基本方針

1 市民と共に考え、市民の声を反映した計画づくり

これまで以上に多くの市民参画^{*1}の機会を確保するとともに、市民と行政、市民同士の対話を重視し、市民と共に考え市民の声を活かした「龍ヶ崎スタイル」の計画づくりを進めてきました。



2 社会経済情勢の変化を捉えた実現性・実効性の高い計画づくり

社会経済情勢の変化や市民ニーズの動向を的確に把握し、かつ、中期的な財政予測との整合を図りながら、施策^{*2}・事業の必要性や緊急性を十分に見極め、現状に即した実現性・実効性の高い計画づくりに取り組みました。

3 目標を共有し実践するためのわかりやすく、使いやすい計画づくり

まちの目指すべき姿や目標、目標達成に向けた手段や役割分担、達成水準などを明確かつ具体的に表現し、市民と共に目標を共有し協働のまちづくりを実践するためのわかりやすく、使いやすい計画づくりに努めました。

^{*1}市民参画：多様な市民意見を反映し、市民の視点を活かした政策を行うために、地域政策の計画立案、意思決定において、行政と市民との意見交換、合意形成を行うこと。

^{*2}施策：政策・対策を立てて、それを実施すること。

策定市民会議・まちみらいフォーラム

本プランの策定にあたっては、策定の基本方針の一つに掲げた「市民と共に考え、市民の声を反映した計画づくり」を進めるため、公募市民と流通経済大学生、市職員によるワークショップ「策定市民会議」を設置しました。

3つのグループに分かれて、市民の視点でまちづくりの課題や解決方法などについての議論を重ね、提言書をまとめあげました。そして、提言の発表会とあわせて、「まちみらいフォーラム」を開催しました。

本プランには、この市民会議からの提言が随所に反映されています。

策定市民会議



グループ討議 (Aグループ)



現地視察 (Bグループ)



グループ討議 (Cグループ)



まちみらいフォーラム



提言発表



市民会議の皆さん

「みんなで考えよう！未来の龍ヶ崎」をテーマに、市民会議からの提言発表、パネルディスカッション^{*1}、「有効に機能する総合計画に向けて」の講演からなる、「まちみらいフォーラム」を開催しました。(平成22年12月18日、文化会館にて)

^{*1}パネルディスカッション：討論形式の一つである。掲げられたテーマについて、異なる意見を持った複数（3人以上）の討論者による公開討論会。